

今月のコラム

ガーデンカフェを日本でも

伊藤商事 伊藤孝巳

半年位前、香港へ行くとき機内誌で「最近台中市内にガーデンカフェが雨後のタケノコのように沢山できている」との記事を見かけました。とても興味のある分野で、ぜひ見に行きたいナ・・・とっていました。丁度この1月に台湾台北の花博を見に行く事になり台中市にも視察予定が入っていたのでその日のスケジュールが終ってからガイドさんに頼んで案内してもらいました。もう夜の9時半くらいでしたので道路から見るだけにしました。それにしても僅か300m四方位のところにとってもモダンな建物のレストランやカフェが20軒位、ライトアップも効果的で、見た事もないような雰囲気街並みでした。もう一度来てみたい!とアドレスをメモして帰り、建築関連の友人に話したところ、「別にわざわざ行かなくても、今ここで昼間の風景を見せてあげるヨ!」とグーグルアースのストリートビューとやらで見せられ、私は再度ビックリ。自分で見られるようパソコンの操作を教えてもらって帰りました。

家に帰って再度じっくり見てみると建物のファサード(正面)はとてもモダンに見えますが、その多くは古い建物の前面につけたしたハリボテです。そして花飾りはコンテナに植えた植物を置いているだけ・・・。ディスプレイ技術はそれほど高いものではありませんでした。何よりもハンギングがひとつもないのが残念でした。ガイドさんの話によるとこのあたりは最近観光地として若い人に人気があるらしく、これを仕掛けた人達の企画力、デザイン力に拍手を送りたいと思いました。

台中のガーデンカフェ通りは私にとってとてもインパクトの強く、ただ「見て来ました・・・」ではありません。即、日本で何らかの形にならないか・・・もう帰りの飛行機の中でも想いをふくらませていました。

こんな企画はどうでしょう。題して「Shop in garden ○○○」この○○○の中に地名が入ります。例えば軽井沢とか修善寺温泉とか沖縄とかという具合です。飲食関連、おみやげもの屋さん、美容院、ブティック・・・いろいろな店の入口周辺を美しい花で飾ったウェルカムガーデンとしてお客様をお迎えしようという事です。それを地域毎にインターネット上でマップにし、お店のHPにリンクさせたりします。旅行する時等、行先に花飾りの美しいお店があればそこで食事をしよう・・・という事になります。地元商工会等と連携して街おこし、地域振興につなげることができるでしょう。イギリス式のオープンガーデンは個人庭が主になってイエローブックなるガイド本ができていますが、個人のお庭を遠方から見に行く事はなかなかできません。しかしお店の客としてならいつでも歓迎してもらえる訳で・・・手土産をもって行く必要もありません。さらにインターネットなら自宅でワイン片手に「今晚は長野県の花のきれいなペンションやレストランを見てみよう・・・」というようにいつでもどこでも好きなところを10軒でも20軒でも見られるわけです。

一方お店側も、近所のお店より美しく飾ろうと、いい意味での競争をすることになるでしょう。明日といわず今日のお客様をお迎えするためには、店先に花の終わった古い鉢をゴチャゴチャと並べておく・・・というようなことはなくなるはず。思わず立ち止まって見たくなるような美しいお店がふえれば、街を歩くのが楽しくなります。

台中のガーデンカフェ通りを見て、日本でも何かできないものか構想を練っています。



台中市のガーデンカフェ、昼と夜の光景(参考アドレス 台湾台中市西区五權西五街あたりです)



カエデ
kaede

「ガーデントライアル IN 八ヶ岳2011」

新規申し込みなど多数、間もなく予定数に

1月から募集を開始した展示商談会「ガーデントライアル IN 八ヶ岳 2011」は、前回出展社の殆どが出展し、また、新規申し込みも大幅に増加。展示面積で約3倍、出展社数で約2倍と前回より盛会になることがほぼ確実にになりました。同時開催のフラワートライアルジャパン2011秋もすでに前年を上回る出展申し込みがあり、今年の八ヶ岳、蓼科での展示会は盛況となる見込みです。

「ガーデントライアル主旨説明会」のご案内

日本フラワー&ガーデンショウ開催期間中の3月25日（金）、幕張メッセ国際会議場におきまして、「ガーデントライアル主旨説明会」を開催いたしますので、出展社及び出展ご希望の方はご参加ください。（申し込みが予定数になりましたら締め切ります）

日時：平成23年3月25日（金） 14：30～15：30

場所：幕張メッセ国際会議場（国際展示場に併設の会議場です） 会議室203

ガーデントライアルに関する問合せは事務局（TEL 052-571-7911）まで。

ガーデントライアル HP: <http://www.npogarden.com>



素晴らしいロケーションの中で開催されます
(フィオーレ小淵沢)

ピュアブルー、IPMで世界一に

高知県芸西村で生産

世界最大級の、ドイツ・エッセンで毎年開かれている国際園芸見本市「IPM 2011」の品評会で、高知県芸西村特産の花、ブルースターの「ピュアブルー」が切花部門の最優秀賞を受賞した。出品者はJA土佐あき芸西集出荷場花き部会。

ブルースターは日本では昔から栽培されているが「ピュアブルー」は品種改良された新品種として「色、長さ、ボリュームともに非常に珍しい」と1位に選ばれた。



IPMで最優秀賞に選ばれた
「ピュアブルー」

ギフト一番店の老舗 二楽園岡本本店

一押しロングラン「フラワーケーキ」

昭和21年オープンで、関西の高級ギフト店の老舗と知られる二楽園総合園芸。JR摂津本山駅前にあり、駅の顔といった立地で、ガーデニングが30%、鉢花30%、インテリアが15%、切花は25%といった構成比だが、全体の中でのギフトが55%を占める。

一番店として、産地直送、1本千円のバラを常時販売するなど、他店との差別化に力を入れるが、その真価はデザイン力。手軽なギフトや家庭用にと好評なのが「フラワーケーキ」シリーズだ。

<http://www.nirakuen.com/>





菜園ブームを背景に

各地の間屋で「家庭菜園」を提案

園芸問屋による春の展示会が終わったが、菜園ブームを背景に野菜関連の提案が目立った。

1月に大阪で開かれた「84th all asadashin fair」では、「家産家消」を提案。「楽しく育てて、美味しくいただく!」をコンセプトに、野菜を自宅の庭やベランダ、貸し農園等で栽培し、収穫、調理し、食べたり保存、野菜くずは堆肥にリサイクルするというもので、野菜や果樹などを育て食する循環型のライフスタイルを提案し、一連の商品をラインアップした。栽培では、農薬等の残留化学物質を分解する土壌改良材である「天然有機コーヒーバイオ」を始め、肥料では「有機おからバイオ」、「有機茶の実ナチュラル」など6種類。調理では、陶製オープンや蒸し鍋、皿など陶製の食器も豊富にラインアップ、保存では陶器製保存容器や漬物容器など。



「家産家消」を実践するコーヒーバイオなどの栽培用のラインアップ商品

地域の伝統工芸を守り、園芸道具の文化を次代に継ぐ

日用品や道具の大量生産が当たり前になる一方、地方の農山村では過疎化が進み、古くから根づいてきた伝統工芸が失われつつある。それは盆栽や園芸、造園の道具類でも同様。

「一度途絶えてしまうと、二度と取り戻せないものがある」と、新潟県燕市の園芸用品卸、(有)ヒラサワ・平沢修さんは言う。ここに紹介するのは、同社が新春見本市に出品した中のごくごく一部。売れ筋商品とは別に、園芸業界で守っていききたい品々である。



燕市の伝統工芸職人による銅製水さし



鉢の大きさに合わせて使う銅製土入れ

会員紹介

E & Gアカデミー東京校／大阪校

エクステリア&ガーデンの幅広い知識と技術を着実に積み上げ、エクステリア&ガーデンデザイナーを目指す、E & Gアカデミー（東京校／大阪校）。

授業の一貫として出展している『日比谷公園ガーデニングショー・コンテストガーデン部門』では、「東京都知事賞（09年）」、「奨励賞（10年）」と、2年続けて受賞しました。また、『全国造園デザインコンクール・住宅庭園部門・大学生の部』では、09年度の「造園学会長賞」を筆頭に、例年、複数の生徒が入選・佳作を果たしております。

今年4月の「新入生募集中」。人と自然がともに暮らす快適な社会を提案する仕事、エクステリア&ガーデンデザイナー。E & Gアカデミーは、“ゼロ”から“プロ”を目指す貴方を応援します。

【東京校】

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-4-2 宮木ビル5F
TEL : 03-5825-8782 FAX : 03-5825-8783
担当：鈴木 恵美子
E-mail : eandg@par.odn.ne.jp

【大阪校】

〒560-0054 大阪府豊中市桜の町6-9-27
TOEX大阪ショールーム4F
TEL : 06-4865-5331 FAX : 06-4865-5332
担当：今井 妙子
E-mail : eandg@world.ocn.ne.jp
URL : http://www.eandg.co.jp





母の日ギフトに使われる「なないろ小町」

西木園芸 鈴木武志

10年ほど前より生産に関わりました2代目です。親の代は鉢花を生産していましたが、苗物も生産するようになり、何とか成品ではなく、商品はできないものかオリジナルを提案しようと、育種を始めました。そうした中で生まれたのが商標登録を取った「なないろ小町」です。ネーミングは亡くなった母で、今では形見となって愛着を持っています。

なないろ小町は花色の変化を楽しむことのできるナデシコです。白色で咲き始めて次第にピンク、赤へと色が変わって咲き終わります。花の直径も1.5センチほどで小さくとても可愛らしいナデシコです。直射日光を受けるとより花色が鮮明になりますので屋外での管理をお勧めします。花期は四季咲きで1年を通して開花しますが、暑い夏と寒い冬は花上りが悪くなります。とくに暑さに比較的弱いので、夏場になるべく涼しくなるように管理して夏越しさせています。

近年では春のシーズンにおけるガーデニング商材としてのポット出荷の他に、母の日のギフト用の需要も増えてきております。

西木園芸ではなないろ小町の他に、おしろい小町、あかね小町という仲間の育種にも取り組んでいます。まだまだ未熟な生産者ですが皆様に喜んでいただける商品作りを目指して日々勉強していきたいと思っております。

HP <http://www.katch.ne.jp/~nishikiengi>

E-MAIL nishikiengi@katch.ne.jp



生産者部会より

アジサイの楽しみ方

アメリカでアジサイといえば庭木。つまりガーデニング用が一般的だそうです。ヨーロッパでは、鉢花として楽しむのが主流だそうです。日本では主に鉢物の流通が主体で、購入したお客様が庭に植え替えて庭木としても楽しむ、というのが一般的な流れでしょうか。

では、庭のないマンションなどでアジサイを楽しむにはどうしたらよいか？

最近では、ヨーロッパで育種されたミニ&ミディアムサイズのアジサイも流通しています。これらの品種は小鉢での生産が可能で、陶器鉢に入れて卓上で楽しむこともできます。

開花前の株を植え込んでコンテナガーデンの材料として楽しむこともありですね。画像のように、アジサイだけで寄せ植えしても、インパクトあります。

アジサイの新しい楽しみ方の提案としていかがでしょうか？

関東ブロック 長谷川園芸 市村花卉園

